一、扶助規定第參條「職工療養ノ爲メ休業中ハ當工場ハ初メノ參ケ月内ハ賃金二分ノ一ヲ支給シ」トアルヲ改メテ「職工療養ノ爲メ休業中ハ當社ハ初メ[illegible]月ハ賃金ノ全額ヲ支給シ次ノ[illegible]月内ハ賃金ノ二分ノ一ヲ支給シ」トナス

但シ療養期間ノ認定ハ當社囑托医師ノ診断ニヨル

一、[illegible]職工全教ノ拾日分ノ給料ヲ支払フ事

一、[illegible]銀[illegible]ハ現在ノ會社ノ状態デハ三割値上ケバ不可能デアルカラ大正十五年[illegible]日[illegible]期[illegible]給ノ際最低五分宛ノ値上ヲ爲ス成績ニ依而一割迄ノ値上ヲス[illegible]

一、[illegible]十七名ニ対スル解雇手當ハ會社則ニヨル解雇手當ノ外予告手[illegible]自日給ノ二週間分ヲ與ヘ更ニ解雇者十七名ニ対シ転職手[illegible]五百圓也ヲ支給スルコト

以上

1480

大正十五年三月卅一日

大阪支所長代理
龜井信辛

總務部長　添田敬一郎殿

奥村電機商會爭議之件

◎所在地　京都府紀伊郡吉祥院村
◎資本金　壹千萬圓
◎製品　發動機、電動機、水車ポンプ、卷捲機等
◎社長　奥村猛
◎職工數　八百十二名
◎組合關係　京都地方評議會
◎組合加盟職工　約百八十名

財團法人協調會大阪支所

15.4.5
200